

水道事業会計

水道事業は、市民の皆さんの生活に必要な不可欠な水を安全で安定的に供給することを目的に市が一つの企業として運営しています。事業は、原則、水道料金収入だけで必要な経費を賄う独立採算制で経営を行っています。

水道水を作り、家庭などに届けるための費用と水道料金収入などの収支を表す収益的収支は8,840万円の黒字となり、国などからの借入金の今後の元金償還に備えるための減債積立金に4,420万円、配水管の更新などの施設整備に備えるため建設改良積立金に4,420万円を積み立てる予定です。

浄水場や配水池、配水管などの整備を行うための支出と、その財源である企業債収入などの収支を表す資本的収支は、4億9,255万円の不足となり、不足額は減価償却費などの内部留保資金（損益勘定留保資金）などで補てんしました。

収益的収支

| 項目 | 金額 |
|---------|-----------|
| 収益的収入 | 10億990万円 |
| 営業収益 | 9億6,856万円 |
| (内給水収益) | 9億3,257万円 |
| 営業外収益 | 4,134万円 |
| 特別利益 | 0万円 |
| 収益的支出 | 9億2,150万円 |
| 営業費用 | 8億4,446万円 |
| 営業外費用 | 7,698万円 |
| 特別損失 | 6万円 |
| 純利益 | 8,840万円 |

資本的収支

| 項目 | 金額 |
|--------|-----------|
| 資本的収入 | 3億5,756万円 |
| 企業債 | 3億5,720万円 |
| 負担金 | 0万円 |
| 補助金 | 36万円 |
| 資本的支出 | 8億5,011万円 |
| 建設改良費 | 5億2,109万円 |
| 企業債償還金 | 3億2,902万円 |
| 不足額 | 4億9,255万円 |

給水人口 42,684人
給水戸数 21,182戸
年間給水量 3,614,949立方メートル

企業債の残高（令和7年3月31日現在）
60億4,999万円

※給水人口1人当たり…14万1,739円

簡易水道事業会計

簡易水道事業は、主に農業活動などを支えるライフラインとして重要な役割を担っています。北海道や市の営農用水事業を経て、平成8年度からは簡易水道事業として経営認可を受けて事業運営を行っており、平成31年4月1日からは市が経営する企業として運営しています。

簡易水道料金などの収入と簡易水道施設の運転や維持管理などにかかる費用と簡易水道料金収入などの収支を表す収益的収支は、662万円の赤字となりました。

施設の新設や改良、企業債の元金償還などにかかる支出と、その財源である企業債収入などの収支を表す資本的収支は、530万円の不足となり、不足額は減価償却費などの内部留保資金（損益勘定留保資金）などで補てんしました。

収益的収支

| 項目 | 金額 |
|-------|---------|
| 収益的収入 | 3,273万円 |
| 営業収益 | 869万円 |
| 営業外収益 | 2,404万円 |
| 特別利益 | 0万円 |
| 収益的支出 | 3,935万円 |
| 営業費用 | 3,625万円 |
| 営業外費用 | 310万円 |
| 特別損失 | 0万円 |
| 純損失 | 662万円 |

資本的収支

| 項目 | 金額 |
|--------|---------|
| 資本的収入 | 5,379万円 |
| 企業債 | 4,270万円 |
| 負担金 | 11万円 |
| 補助金 | 1,098万円 |
| 資本的支出 | 5,909万円 |
| 建設改良費 | 4,853万円 |
| 企業債償還金 | 1,056万円 |
| 不足額 | 530万円 |

給水人口 121人
給水戸数 114戸
年間給水量 55,473立方メートル

企業債の残高（令和7年3月31日現在）
2億7,753万円

下水道事業会計

下水道事業は、市が経営する公営企業として、下水道使用料などの収入で経費を賄うことを基本とし、雨水の排水など公共性の高い事業に係る経費については、一定のルールに基づき市税収入などで負担し、経営を行っています。

下水道管や浄化センターの管理に必要な支出と利用者の皆さんからお支払いいただく使用料などの収入を經理する収益的収支は、1億3,911万円の黒字となりました。黒字額については、今後の借入金返済に備え、減債積立金に全額を積み立てる予定です。

資本的収支では、建設改良事業として、登別停車場線の無電柱化・改築事業に伴う雨水管渠実施設計や、たるみが著しい汚水管の改良工事などを行ったほか、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの電気設備の改築更新を行ったことにより、6億6,810万円の不足となり、不足額は収益的収支における減価償却費など、現金の支出を必要としない経費によって生じる内部留保資金（損益勘定留保資金）などにより補てんしました。

収益的収支

| 項目 | 金額 |
|-----------|------------|
| 収益的収入 | 16億6,332万円 |
| 営業収益 | 7億1,365万円 |
| (内下水道使用料) | 6億4,441万円 |
| 営業外収益 | 9億3,018万円 |
| 特別利益 | 1,949万円 |
| 収益的支出 | 15億2,421万円 |
| 営業費用 | 13億3,507万円 |
| 営業外費用 | 1億8,910万円 |
| 特別損失 | 4万円 |
| 純利益 | 1億3,911万円 |

資本的収支

| 項目 | 金額 |
|----------|------------|
| 資本的収入 | 7億4,668万円 |
| 企業債 | 5億3,220万円 |
| 負担金及び分担金 | 1,839万円 |
| 補助金 | 1億9,609万円 |
| 資本的支出 | 14億1,478万円 |
| 建設改良費 | 1億7,090万円 |
| 企業債償還金 | 12億4,388万円 |
| 収支不足額 | 6億6,810万円 |



企業債の残高（令和7年3月31日現在）
135億985万円